

経営戦略委員会だより Vol.4

1.経営戦略委員会開催概要

日時：平成29年7月11日（火）

14:30～16:30

場所：日本プロゴルフ協会

委員：

日本プロゴルフ協会	会長	倉本昌弘
日本プロゴルフ協会	副会長	井上建夫
日本プロゴルフ協会	理事	紺村俊徳
全日本ゴルフ練習場連盟		加藤賢治
全日本ゴルフ練習場連盟		川崎益彦
日本ゴルフ場経営者協会		大石順一
矢野経済研究所		三石茂樹
事務局	根本修一(日本プロゴルフ協会)	
オブザーバー	油井智(矢野経済研究所)	

2.報告・検討事項

倉本会長からの挨拶で開会

各練習場「PGA ゴルフデビュープログラムの現状報告」

関西では入場者が増加。関東では初心者の大半がデビュープログラムを目的に来場。

・各練習場より、本プログラム参加者や練習場スタッフの意見、プログラムの告知状況の報告がありました。

・関西では去年から今年にかけ入場者が増加していることが示されました。これは周辺地域の練習場にも当てはまり、ゴルフに対する意識が変化しているように感じているとの報告がありました。

・関東では、初心者のほとんどがデビュープログラムを目的に来場していること、プログラム修了者で練習場のスクールに移行している人が現れているとの報告がありました。また、9月にプロを増員しプログラム枠を拡大したいとの考えが示されました。

事務局ほか「PGA ゴルフデビュープログラムの拠点拡大について」

拠点拡大はPGA 公認ゴルフスクールを中心にアプローチを進める。

・事務局より、今後の拠点拡大に向け、PGA 公認ゴルフスクールを開催している練習場、および関東・関西の既存拠点の周辺練習場を対象にアプローチを図るとの考えが示されました。続いて三石委員より、PGA 公認ゴルフスクール実施練習場向けの説明資料の説明がなされました。

三石委員ほか「ゴルフライフスタイル調査」の今後の展開について

調査結果に基づき、業界活性化に向けた戦略を発表する「フォーラム」開催を検討

・三石委員より、前回の経営戦略委員会で実施が検討され、5月の理事会で予算承認された「ゴルフライフスタイル調査の深堀りのためのグループインタビュー」の中止と今後の展開についての提案がありました。

・グループインタビュー実施に向け実査担当者と検討し、既存の調査結果で一定の仮説が

得られていること、調査を実施しても新たな知見が得にくいとの意見があったことを受け、調査の中止が提案されました。

- また三石委員から、golferライフスタイル調査の詳細データ提供先である39の企業および個人に、本年9月末を目処に「既存golferのゴルフ満足度向上に向けた具体的戦略案」を提案していただくこと、経営戦略委員会での書類選考ののち、5社程度の戦略案を発表する「フォーラム」を開催すること、優秀提案には戦略実行のための支援金を贈呈することが提案されました。

- 続いて事務局より、タスクフォース会議からも「業界活性化のためのアイデア公募事業の実施」が提案されていることが示されました。また戦略案のテーマとして「既存golferの満足度向上」、「golferの離脱防止」、「新規golferの創造」が提案されました。またフォーラム開催時期は2018年2月～3月頃との考えが示されました。

- インタビューの中止、フォーラム実施の検討は委員により異議なく承認されました。

事務局ほか「矢野経済研究所の業績評価について」

矢野経済研究所の業績評価は全項目A評価で理事会に提案

- 事務局より、矢野経済研究所との業務提携契約第2期下期（2016年12月～2017年5月）の実績評価について、経営戦略委員会で評価し、理事会に報告した上で成果報酬（最大300万円）を支払いたいとの考えが示されました。また矢野経済研究所からは自己評価として、期首に設定した5つの評価基準項目全てについてA評価（達成度75%～100%）とする旨の評価表が提出されているこ

との説明がありました。

- 続いて矢野経済研究所の油井氏より概要説明がなされ、成果物の配布と経営戦略委員会での評価の検討が提案されました。
- この提案を受け委員で検討を行った結果、経営戦略委員会として5項目すべてをA評価とし、成果報酬は満額を支払うことを理事会に提案することが確認されました。

事務局「全国大学体育連合（大体連）との提携について」

大学で特別授業を実施。PGAテキスト、カリキュラムの導入に効果

- 事務局より、6月6日に井上副会長が武蔵野美術大学（武蔵美）で特別授業を行ったことが報告されました。

- 続いて井上副会長より、武蔵美では本年よりPGA制作のカリキュラム、テキストを導入いただいております。昨年度の特別授業よりも学生のアドレスが非常に良い形になっているとの感想が述べられました。

事務局「朝日新聞社からの提案について」

朝日新聞より「ゴルフアイデアソン」の提案

- 事務局より、朝日新聞社より「ゴルフ業界活性化施策～ゴルフアイデアソン～」と題した提案があったとの報告がありました。本件は委員で検討した結果、実施に向け朝日新聞社と打ち合わせを行うこととなりました。

1.経営戦略委員会開催概要

日時：平成29年9月4日（月）

15:00～17:00

場所：日本プロゴルフ協会

委員：

日本プロゴルフ協会	会長	倉本昌弘
日本プロゴルフ協会	副会長	井上建夫
全日本ゴルフ練習場連盟		川崎益彦
日本ゴルフ場経営者協会		大石順一
矢野経済研究所		三石茂樹
事務局	根本修一(日本プロゴルフ協会)	
オブザーバー	油井智(矢野経済研究所)	

2.報告・検討事項

各練習場「PGA ゴルフデビュープログラムの現状報告」

関西では拠点練習場に関心を持つ練習場が現れる。関東ではプログラム修了者が既存スクールに移行する動きがみられる。

- ・各拠点練習場より、デビュープログラム参加状況や参加者の意見の報告がありました。
- ・関西では前回の委員会以降、デビュープログラムの新規参加者がいないこと、関西ゴルフ練習場連盟の会合でプログラムの拠点募集案内を行ったところ、2箇所の練習場が興味を示していることが報告されました。
- ・関東でも前回の委員会以降、デビュープログラムの新規参加者がいないこと、プログラム修了者19人のうち5人は練習場のスクールに移行していることが報告されました。
- ・既存スクールに移行しなかった人から「想像よりもハード」、「コースまでの移動手段を考えると続ける自信が無い」、「楽しさを見出せなかった」といった意見が挙がっていることが示されました。

事務局ほか「PGA ゴルフデビュープログラムの拠点拡大について」

新規拠点は PGA 公認ゴルフスクールを中心に、全国で10箇所程度となるよう募集。

・事務局より、プログラムの拠点を10箇所程度増やすという前回委員会での決定に基づき、各委員から紹介された練習場や、PGAに問い合わせがあった練習場等に説明を行うこと、また、今後PGA公認ゴルフスクール開催練習場に拠点募集の案内を送付するとの考えが示されました。

・続いて三石委員より、既に関東、関西では説明会を実施済み又は実施予定の練習場があるため、今後は「北海道・東北1箇所」、「中部2箇所」、「中四国・九州1～2箇所」を想定した募集を行うことが提案されました。

・拠点拡大の方法について検討を行った結果、三石委員の提案に基づき、地域別に募集活動を行うこととなりました。

三石委員「女性分科会のメンバー募集について」

参加の問い合わせはあり。募集は継続。

- ・三石委員より、8月中旬にPGAより女性分科会のメンバー募集のプレスリリースをメディア向けに配信するとともに、デビュープログラムのFacebookページに投稿した結果、4名から問い合わせがあったものの正式な申込みには至っていない事が報告されました。
- ・9月中旬ごろまでに申し込みが無かった場合は、委員より声かけを行う考えが示されました。

三石委員「ゴルファーライフスタイル調査のデータ提供企業に対する市場活性化策の募集と活用について」

各社の業界活性化のアイデアは、今後立ち上げるテーマ別の分科会により実行に向け検討する。

・三石委員より、以下の通り説明がなされました。

・前回の委員会では、ゴルファーライフスタイル調査のデータ提供企業に対し、9月末を目処にゴルフ市場活性化のアイデアを募集、フォーラム等で発表し表彰するとの方向性が確認された。

・各社から提案されたアイデアをいかに活用するかについて、以下の3案を提案する。

1. 優秀案のみを実行対象とする。

(実行策が絞られるため効果の検証を行いやすいが、不採用案が開示されない)

2. 各案をグループ分けし、分科会を立ち上げて実行を検討する。

(全案を実行に向け検討、開示できるが、委員会が監督できるかどうか課題)

3. 各案を取りまとめ、開示するにとどめる。

(委員会の負担は軽いが、各案が実行に移される保証がなくなる)

・三石委員からの提案について意見交換を行った結果、提出されたアイデアの活用については、第2案を基本とすることが確認されました。また、フォーラムの規模については300人程度を目標とすることとなりました。

三石委員「デビュープログラムへのメーカーからの協力提案について」

矢野経済研究所の業績評価は全項目A評価で理事会に提案

・三石委員より、デビュープログラムに対してゴルフ用品メーカーから協力提案が複数寄せられているとの報告がありました。

・グリップメーカー「GOLFPRIDE」からは、

デビュープログラムで使用中のレンタルクラブの交換用に、グリップ300本程度の無償提供が提案されていることが報告されました。

・本件については、デビュープログラムよりも大学ゴルフ授業で使用するクラブへのグリップ提供および交換をしていただけないか確認することとしました。

・クラブメーカー「マグレガーゴルフ」からは、初心者用クラブセットの活用提案と単品アイアンの無償提供が提案されていることが報告されました。

・本件については矢野経済が再度マグレガーゴルフと打ち合わせのうえ、改めて経営戦略委員会に提案することとなりました。

事務局「全国大学体育連合(大体連)との提携について」

大学で学生向け特別授業、および指導者向けセミナーを実施予定。

・事務局より、11月14日に井上副会長が武蔵野美術大学(武蔵美)で特別授業を行うこと、また10月または11月に同大学において、大学指導者向けセミナー(短縮版)を実施予定であることが報告されました。

1.経営戦略委員会開催概要

日時：平成29年11月13日（月）

14:00～16:00

場所：日本プロゴルフ協会

委員：

日本プロゴルフ協会	会長	倉本昌弘
日本プロゴルフ協会	副会長	井上建夫
日本プロゴルフ協会	理事	紺村俊徳
全日本ゴルフ練習場連盟		川崎益彦
全日本ゴルフ練習場連盟		加藤賢治
日本ゴルフ場経営者協会		大石順一
矢野経済研究所		三石茂樹
事務局	根本修一(日本プロゴルフ協会)	
オブザーバー	油井智(矢野経済研究所)	

2.報告・検討事項

各練習場「PGA ゴルフデビュープログラムの現状報告」

関西では協力者からの紹介による入会が3名。関東では夫婦での入会が相次いでいる。

- ・各拠点練習場より、デビュープログラム参加状況や参加者の意見の報告がありました。
- ・関西では協力者から紹介を受けた3人が新たに入会したことが報告されました。併せて、ハーフプログラムの受講者が多く、そのほとんどが後半に進まないことが示されました。
- ・関東では現在2名が受講中で、4名の申し込みがあったこと、いずれも夫婦での申込みで、長く楽しむ共通の趣味を持ちたいという理由であることが報告されました。

事務局ほか「PGA ゴルフデビュープログラムの拠点拡大について」

来年3月よりデビュープログラムの料金、商品構成を変更、より手軽に参加できるプログラムに改める。

・三石委員より、既に関東、関西で計4箇所の練習場においてPGA事務局とともに説明会を実施したことが報告されました。各練習場はデビュープログラムへの参画を前向きに検討していただいている一方、以下のような課題も示されました。

- ・スクール料金に地域差があり、現在の料金では地方部での普及が難しいこと。また、料金を地域ごとの変動制にした場合、現時点では料金設定の論理的根拠がないこと。
- ・当初はデビュープログラムを「ゴルフのお手軽お試しプログラム」的なものと位置づけていたが、他のスクールと比較すると決してお手軽なものではなく、新規拠点において既存のスクールとの棲み分けを明確にするためにも、デビュープログラムを再構築する必要があること。

・続いて事務局より、以下の補足説明がありました。

- ・拠点候補の練習場に説明をしていて感じたことは、いずれの練習場も「協力はしたい」という前向きな発言はあるものの、現実として現状のデビュープログラムが練習場にうまくはまるかという点については疑問があるという意見が多かった。そうした意見を踏まえ、プログラムの全体的な内容をもう一度見直す必要もあるのではないかと感じている。
- ・現状の価格設定は、我々としては「お得感」があると感じているが、この価格の中にPGAの管理費やレンタルクラブ関係費が含まれていることから、実際の相場と比較すると少し高めであることは否めない。

・価格を下げる方法としては、1つはスクールまたはコースレッスンの単価を下げること、もう1つはスクールの回数を減らすことの2

つがあると考えている。今回、井上副会長の了解を得た上で、スクール回数を減らし管理費等を見直すことで、どれだけ価格を下げられるかシミュレーションしたので、参考にさせていただいて検討していただきたい。

- これらの報告に基づきプログラム内容の見直しについて検討を行った結果、以下の通りとすることとなりました。

- スクールの回数を14回→5回、コースレッスンを2回→1回に変更する。

- コースレッスンは5回のスクール終了後に受けられることとする。

- スクールとコースレッスンの単価は変更せず、プログラムの参加費は2万9千円(税別)とする。ただし、地域の相場を考慮し、練習場からの申し出があった場合に限り、スクールの単価を下げるにより下限を2万4千円にできることとする。

- 新しいプログラムの導入と新規拠点の稼働は2018年3月からとする。

三石委員「女性分科会の募集について」

3名のメンバーが決定。11月に第1回ミーティングを開催予定。

- 三石委員より、女性分科会への参加申込みがなかったこと、「ゴルフ界に染まりきっていない人(業界のしがらみにとらわれずにアイデアを出せる)」、または「対象となる未経験者ならびに女性ゴルファーの心理が理解できる人」という観点から人選し、3名の方に参画を打診した結果、全員から快諾されたことが報告されました。また、第1回のミーティングを11月24日(金)に実施する予定であることが示されました。

矢野経済研究所「golferライフスタイル調査のデータ提供企業に対する市場活性化策の募集と活用について」

各社の業界活性化のアイデアはグループ分けし、今後立ち上げるテーマ別の分科会により実行に向け検討する。

- 油井氏より以下の通り説明がなされました。
- 「golferライフスタイル調査」の詳細版データを提供した企業・個人(総数44)に対し、「ゴルフ市場活性化策」の提案を求めたところ、10月20日現在で12の会社と個人から30のアイデアが寄せられている。

- 寄せられた活性化策を具体的かつ実現可能なアクションプランに落とし込むため、まずアイデアを7つのグループに分け、各グループを「重要度」と「PGAの事業との関連性の高さ」を基準に評価した。そして、評価結果を元に評価が高い3つのグループについて部会を設けて検討してどうかと考えている。その上で、各グループの中でも特に必要性の高い提案について、アクションプラン策定を目指し検討を重ねることを提案させていただいた。

- 部会を設けるに至らなかったアイデアについても、経営戦略委員会は業界内での情報の共有やマッチングの機会の提供、関連する業界団体での検討を行い、事業化に繋がるよう支援することも提案させていただきたい。

- 資料の評価は矢野経済研究所による「案」であるので、最終的な判断は経営戦略委員会での議論をもって決定したいと考えている。

- 油井氏からの説明の後意見交換を行い、次回委員会までにグルーピングならびに今後の進め方などについて具体案を提出することとなりました。

事務局「全国大学体育連合（大体連）との提携について」

指導者向けセミナーを実施。また、大学で学生向け特別授業を実施予定。

・事務局より、11月12日に井上副会長が武蔵野美術大学で大学指導者向けセミナーを実施し、7大学7名の先生に座学2時間、実技2時間の抗議を実施したことが報告されました。また11月14日には同大学で今年2回目の特別授業を実施予定であることが報告されました。

